



George Sand Trio

ジョルジュ・サンド・トリオ

Virginie Buscail

ヴィルジニー・ビュスカイユ(ヴァイオリン)

Diana Ligeti

ディアナ・リゲティ(チェロ)

Anne Lise Gastaldi

アンヌ＝リーズ・ガスタルディ(ピアノ)

トリオ・ジョルジュ・サンドは、ラ・フォル・ジュルネやサンクトペテルスブルク国際音楽祭、ヴェニスフェニーチェ劇場などで、その室内音楽家としての類まれな魅力から、多くの観客に熱く支持されて来た。

音楽への情熱と室内楽というものに対するしっかりとしたビジョン、聴衆を楽しませると同時に物語に引き込む力、そのバランスが魅力のトリオで「3人のアーティストが、生き生きとした鮮やかな勢いで、音楽を共に感じ音を響かせる」とジャーナリストは評している。レパートリーはハイドンの時代から、特に演奏の多いロマン派を経て、現代音楽まで250年間をカバーし、数々のCDを録音している。France2やFrance3といったテレビなどで度々紹介されており、他ジャンルとのコラボレーションも多い。

Guest



Violaine Despeyroux

ヴィオレーヌ・デスペルー(ヴィオラ)

パリとミュンヘンで研鑽を積んだフランス人ヴィオラ奏者。ラ・フォル・ジュルネやヨーロッパの音楽祭やカルテットのゲストやソロリストとして招待されている。

Guest



Risa Kataoka

片岡リサ(箏・三絃)

大阪音楽大学卒業、大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了、同大学院博士後期課程満期取得退学(音楽学)。

幼少より箏・三絃を始め、数々のコンクールで第1位を受賞。平成13年度文化庁芸術祭新人賞を洋楽邦楽問わず史上最年少で受賞するなど、伝統音楽の枠を超えた音楽性が様々なジャンルで高く評価されている。第21回出光音楽賞、平成22年度大阪文化祭賞、平成23年度咲くやこの花賞、平成30年度文化庁芸術祭優秀賞など受賞。多くのオーケストラとの協演、洋楽器とのアンサンブルや現代作品にも力を入れている。現在、大阪音楽大学特任教授、同志社女子大学・兵庫教育大学非常勤講師。

LE VOYAGE
IMAGINAIRE
DE MOZART AU
JAPON !?